

# 一般質問 市町村合併を支援する道路整備手法などを質す

## 調査特別委 本県産業活性化の方策をとりまとめ

### 第四回定例会の概要

平成一五年第四回定例会は、一月二五日から一二月九日まで、一五日間の会期で開かれました。

この定例会には、知事から、職員給与に  
関する条例等の一部を改正する条例や茨城県  
核燃料等取扱税条例など、議員からは政府系  
金融機関における民間金融機関を補完し協調  
する体制の強化を求める意見書などの議案が  
提出されました。

一般質問では、市町村合併を支援する幹線  
道路の整備手法、ものづくり精神の継承と若  
者の就職に向けた取り組み、県北西部地域中  
核病院の整備、県北過疎地域の振興対策、コ  
イヘルペスウイルス被害の養殖コイ生産者支  
援策、民間人校長登用の取り組みなどについ  
て質問がありました。(二・三面に掲載)

常任委員会では、つくばエクスプレス沿線  
県有地の分譲方法、市町村合併に伴う消防本  
部の広域再編の枠組み、知的障害者施設の整  
備方針、養殖コイ大量死問題での国への要  
望、筑西幹線道路の古河総和地区のルート決  
定見通し、家庭の教育力の回復などの議論が  
行われました。(四・五面に掲載)

産業活性化調査特別委員会では、本県産業  
の課題を踏まえて来年度から取り組むべき諸  
方策をとりまとめました。(六面に掲載)  
決算特別委員会の平成一四年度県公営企業  
会計決算の認定にかかる審査結果が、最終日  
の本会議で委員長から報告されました。(八  
面に掲載)

最終日の本会議では、条例、意見書など二  
二の議案が可決、認定、承認、答申、採択さ  
れました。(四・五・六面に掲載)

### 一般質問 要旨

2-3面

### 県民生活の課題質す

第四回定例会の一般質問では、六人の議員が登壇し、県民の生活にかかわる県政の課題について質しました。  
主な質問の内容は、市町村合併を支援する幹線道路の整備手法や農業改革の取り組み、ものづくり精神の継承と若者の就職に向けた取り組み、日立市で

実施された高速道路料金を割引きして一般道の渋滞緩和の効果を検証する社会実験の経過と展開、県北西部の中核病院の整備、畜産と栽培農家との連携による土づくりの取り組み、県北過疎地域の振興策、県北山間部農業振興のための農産物直売所の活性化策、コイヘルペスウイルス被害の養殖コイ生産者への支援策、地域水田農業ビジョン策定と今後の対応、民間人の校長登用の取り組み、遺伝子組換え農作物の栽培指針の策定などについてです。

### 合併を支援する道路整備は

### 市町村道として特例債活用

議員(自民) 市町村合併を支援するうえで広域的な機能を有する幹線道路の整備は非常に優先度が高い。厳しい財政状況下における効果的な幹線道路の整備手法について伺う。

知事 合併建設計画において、幹線道路を市町村道と位置付け、合併特例債を活用することが早期完成のために極めて有効である。その際、県としては、市町村の負担を軽減できるように事業費の一部を補助するなどの仕組みを検討したい。

議員 農業改革を強力に推進するためには、農政の仕組みを生産現場提案型に転換し、農業者や産地からの提案を施策化していく必要がある。具体化に向けての取り組みについて伺う。



### 若者の就職への取り組みは

### 企業実習の機会を拡大

議員(民清ク) ものづくり精神を継承し、若者の就職状況を改善するには、

就職希望と仕事内容や職場実態の乖離を防ぎ、中小企業の体験機会を増やす必要がある。企業実習と学校での教育・職業訓練を組み合わせ職業人を育成する日本版デュアルシステムも視野に入れた県の取り組みを伺う。

議員 日立市内の一般道の渋滞緩和等の効果を検証するため、常磐道の通行料金を割引く社会実験の経過と展開を伺う。

土木部長 常磐道の交通量は実験前より途中経過で約一%増加し、市内では調査区間の到達時間が短縮され信号待ちが減るなど、良好な結果が確認された。今後は、高速道路のより良い活用策を国・道路公団・日立市と協議していく。

### 質問者

- 飯塚秋男(自由民主党)
- 今一男(民主清新クラブ)
- 黒部博英(自由民主党)
- 綿引久男(自由民主党)
- 坪井透(自由民主党)
- 小川一成(自由民主党)



ホテルのレストランで就業体験

長 就業体験の受入先を拡大し、就職希

望の高校生には全員就業体験を実施している。日本版デュアルシステムも来年度からの実施に向け国と協議を進めている。